

令和5年度

北竜町一般会計・特別会計
決算審査報告書

監査委員 井 上 孝

監査委員 佐 藤 稔

目 次

審査の概要

1. 審査対象決算	1
2. 審査の期間	1
3. 審査の対象	1
4. 審査の要領	1

審査意見

1. 総括意見	2, 3
2. 各会計の審査概要	4
各会計決算総括表	4
(1) 一般会計	5
歳入	5
歳出	6
第1表 財源の状況	7
第2表 支出の状況	8
第3表 基金の状況	9
第4表 一部事務組合負担金調	10
(2) 国民健康保険特別会計	11
(3) 町立診療所事業特別会計	12
(4) 後期高齢者医療特別会計	13
(5) 介護保険特別会計	14
(6) 特別養護老人ホーム事業特別会計	15
3. 基金運用状況審査結果	16
(1) 奨学資金貸付金会計審査意見書	16
奨学資金貸付調書	17

審 査 の 概 要

1. 審査対象決算

- (1) 令和5年度北竜町一般会計歳入歳出決算
- (2) 令和5年度北竜町国民健康保険特別会計歳入歳出決算
- (3) 令和5年度北竜町立診療所事業特別会計歳入歳出決算
- (4) 令和5年度北竜町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算
- (5) 令和5年度北竜町介護保険特別会計歳入歳出決算
- (6) 令和5年度北竜町特別養護老人ホーム事業特別会計歳入歳出決算

2. 審査の期間

令和6年8月19日、20日、22日（3日間）

3. 審査の対象

- (1) 各会計決算
- (2) 同上関係諸帳簿
- (3) 証書類及び付属書類
- (4) 財産に関する調書並びに基金運用調書

4. 審査の要領

- (1) 会計記録の正当性及び計数の確認
- (2) 予算執行の適否
- (3) 財産運用の妥当性

以上の点に主眼を置き、関係諸帳簿の精査及び証書類との照合、さらに必要に応じ担当課から資料の提出及び説明を求め、既往の監査の結果を参考にしながら審査の適正を期した。

審 査 意 見

令和5年度北竜町一般会計及び特別会計決算審査意見

審査に付された一般会計及び5特別会計とも決算の計算は正確であり、予算に従って適正に執行されていることを認めた。

1. 総括意見

①一般会計及び5特別会計について

令和5年度の一般会計及び5特別会計を合わせた決算状況は、歳入5,270,194千円で前年度に比べ157,856千円(3.1%)増収となり、歳出は5,193,477千円で前年度と比べ162,168千円(3.2%)増加している。

一般会計の歳入総額は4,097,289千円で対前年度比270,005千円(7.1%)の増収で、町税における不納欠損額は43,678円で、収入未済額は6,198千円で対前年度比は383千円(5.8%)減少している。また、自主財源で対前年度比280,667千円の増収、依存財源では10,662千円の減収となっている。なお、予算に対する収入歩合は98.62%、調定に対する収入歩合は99.85%であった。

歳出では総額4,047,471千円となり性質別に分類した場合、義務的経費が1,152,298千円で対前年度比55,058千円の増額となっており、歳出総額の28.5%を占めている。うち、人件費は445,794千円で対前年度比21,485千円(4.6%)の減、公債費は544,860千円で対前年度比58,278千円(12.0%)の増であった。歳出全体では前年度比271,302千円の増となり、歳入歳出差引残高の実質収支は49,818千円の黒字となっている。

特別会計の収支は国民健康保険特別会計をはじめ5特別会計ともに一般会計からの法定繰入れ、任意繰入れをもって収支の均衡を図っている。

財政指標のうち自主財源の割合を示す財政力指数(3カ年平均)は前年度に対し0.006ポイント減少し0.119であった。また、経常収支比率は90.4%と前年度比3.0%上昇した。

②今後の見通しについて

一般会計及び5特別会計を合わせた決算収支状況は、前年度に引き続き実質収支は黒字決算となっている。この状況は長期にわたり続いているものの依然として歳入の主要な財源となっている地方交付税等国の財源に依存するところが大きい。少子高齢化、人口減少化などにより納税義務者の減少が見込まれることから、今後税収の増加を期待することは難しいと思われる。また、高齢化の進展による社会保障費の増加や公共施設の維持管理経費など、多大な財政負担が見込まれることから、今後は収支の均衡をより意識した厳しい財政運営が求められている。また、併せて次世代の負担軽減のため地方債残高の抑制に更に取り組む必要があると思われる。

今後、限られた財源の中で新たな町民のニーズや社会的要請などを踏まえ、事業の選択と限られた財源の効率的で重点的な配分により、より最小の経費で最大の効果が得られるよう、効果的な行政運営を一層推し進める事が求められるものと思われる。このため更なる財政の健全性を維持していくことが必要と考え、次の点に特に留意され取り組む事を望むところであります

イ) 経常収支比率が3.0%上昇するなど財政運営の硬直化が顕著となっていることを踏まえ、さらなる経常経費の節減に努め、コスト意識を充分に持ち、経費節減に努められたい。

ロ) 税、使用料、負担金などの未収金については町民負担の公平性の観点から、早期解消に向け計画的で効果的に回収を図られたい。

2. 各会計の審査概要

決算審査にあたり、町長より各会計にわたる決算説明書の提示があったので重複をさけ、各会計別の概要を報告する。

令和5年度各会計決算総括表は、下記のとおりである。

令和5年度各会計決算総括表

(単位：円、%)

会計名	歳 入					歳 出			差引残額 (C-E)	
	予算現額	調定額	収入済額	収入歩合		予算現額	支出済額	執行率		
	A	B	C	C/A	C/B	D	E	E/D		
一般会計	4,154,787,000	4,103,530,830	4,097,289,076	98.62	99.85	4,154,787,000	4,047,471,489	97.42	49,817,587	
特別会計	国民健康保険	284,850,000	262,744,387	259,178,378	90.99	98.64	284,850,000	257,554,342	90.42	1,624,036
	町立診療所	112,692,000	102,111,492	102,111,492	90.61	100.00	112,692,000	101,315,993	89.91	795,499
	後期高齢者医療	39,976,000	37,948,660	37,948,660	94.93	100.00	39,976,000	37,919,160	94.85	29,500
	介護保険	302,093,000	305,168,270	305,156,570	101.01	100.00	302,093,000	288,813,746	95.60	16,342,824
	特別養護老人ホーム	478,397,000	468,510,236	468,510,236	97.93	100.00	478,397,000	460,403,292	96.24	8,106,944
	小計	1,218,008,000	1,176,483,045	1,172,905,336	96.30	99.70	1,218,008,000	1,146,006,533	94.09	26,898,803
合計	5,372,795,000	5,280,013,875	5,270,194,412	98.09	99.81	5,372,795,000	5,193,478,022	96.66	76,716,390	
参考	前年度実績	5,248,740,000	5,122,488,703	5,112,338,371	97.40	99.80	5,248,740,000	5,031,308,796	95.86	81,029,575
	対前年増減	124,055,000	157,525,172	157,856,041			124,055,000	162,169,226		△ 4,313,185
	対前年比	2.4	3.1	3.1			2.4	3.2		△ 5.3

(1) 一般会計

○歳入

- イ. 予算現額 4,154,787,000 円に対し、収入済額は 4,097,289,076 円で、収入歩合は 98.62%、対予算では 57,497,924 円の減である。また、調定額 4,103,530,830 円に対する収入歩合は 99.85%で、不納欠損額が 43,678 円、6,198,076 円が収入未済となっている。
- ロ. 歳入の主なものは、地方交付税が 1,837,940,000 円で 44.9%を占めている。以下、寄附金 490,629,840 円 (12.0%)、国庫支出金 333,496,391 円 (8.1%)、町債 328,072,000 千円 (8.0%) の順となっている。
なお、ふるさと応援寄附金では 443,577,000 円で前年度比 124,757,000 円 (39.1%) の増となっている。
- ハ. 歳入のうち、自主財源は 1,179,951,305 円 (構成比 28.8%) で町税を除く主なものは寄附金で 490,629,840 円、繰入金が 287,164,252 円となっている。また、町税は 179,497,497 円で前年度比 5.7%の増となっており、自主財源全体では 280,666,900 円 (前年比 31.2%) の増となっている。
(第1表 財源の状況参照)
- ニ. 町税の徴収率は、現年度分で 99.75%と高い水準にあるものの滞納分を含めると 98.68%となっている。不納欠損処分額は 43,678 円、収入未済額は 2,364,046 円で前年度と比較して 312,777 円減少している。徴収率の向上、滞納額の減少は評価できるところであるが、今後においても厳正に対処され、徴収率のさらなる向上を期されたい。

○歳 出

- イ. 予算現額 4,154,787,000 円に対し、支出済額は 4,047,471,489 円で執行率は 96.66%であり、繰越明許費を除く歳出不用額は 97,332,511 円である。
- ロ. 歳出の性質別決算状況では、消費的経費が 2,236,794 千円で全体の 55.3%を占め、投資的経費は 466,655 千円で 11.5%となっている。
(第 2 表 支出の状況参照)
- ハ. 一般会計における令和 5 年度末の町債の残高は、4,534,496,434 円で、210,192,192 円の減となっている。

○総 括

- イ. 歳入歳出差引額は 49,817,587 円で、全額翌年度に繰越された。
- ロ. 町税、使用料等の徴収率は概ね良好である。なお、農業費分担金については 3,834,030 円が収入未済となっており、引き続き納入について最善の努力を期されたい。
歳入全般については、地方交付税など国からの財源に依存するところが大きい。自主財源の総額は 1,179,951 千円で対前年比 280,667 千円増となり、依存財源では地方交付税が増加するものの国庫支出金の減により対前年比 10,662 千円減となっている。町政運営上、貴重な財源となっているふるさと応援寄附金は増加傾向にある。今後とも返礼品の充実等の方策により増収に向け一層努力されたい。
町税全体の収入未済額については、引き続き公正公平の観点から徴収に向け努力されたい。
- ハ. 歳出決算において、100 万円を超える多額の不用額が散見される。実質不用と見込まれる予算については適宜、補正予算で減額されたい。

第1表 財源の状況

歳入を自主財源と依存財源に区分すれば、次のとおりである。

自主財源と依存財源の対比

(単位：千円、%)

		令和5年度		令和4年度		対前年伸率
		収入済額	構成比	収入済額	構成比	
自主財源	町 税	179,497	4.4	169,750	4.4	5.7
	分担金及び負担金	16,000	0.4	17,909	0.5	▲ 10.7
	使用料及び手数料	66,051	1.6	67,759	1.8	▲ 2.5
	財 産 収 入	12,110	0.3	5,121	0.1	136.5
	寄 付 金	490,630	12.0	367,960	9.6	33.3
	繰 入 金	287,164	7	119,193	3.1	140.9
	繰 越 金	51,115	1.2	61,450	1.6	▲ 16.8
	諸 収 入	77,384	1.9	90,142	2.4	▲ 14.2
	計	1,179,951	28.8	899,284	23.5	31.2
	依存財源	地 方 譲 与 税	43,028	1.1	42,740	1.1
利子割交付金		58	0.0	67	0.0	▲ 13.4
配当割交付金		550	0.0	500	0.0	10.0
株式等譲渡所得割交付金		633	0.0	402	0.0	57.5
法人事業税交付金		3,495	0.1	3,142	0.1	11.2
地方消費税交付金		46,216	1.1	47,404	1.2	▲ 2.5
自動車取得税交付金		0	0.0	0	0.0	-
自動車環境性能割交付金		4,506	0.1	3,560	0.1	26.6
地方特例交付金		526	0.0	423	0.0	24.3
地 方 交 付 税		1,837,940	44.9	1,782,617	46.6	3.1
交通安全対策特別交付金		0	0.0	0	0.0	-
国 庫 支 出 金		333,496	8.1	427,275	11.2	▲ 21.9
道 支 出 金		318,818	7.8	267,777	7.0	19.1
町 債		328,072	8.0	352,093	9.2	▲ 6.8
計	2,917,338	71.2	2,928,000	76.5	▲ 0.4	
歳 入 計		4,097,289	100.0	3,827,284	100.0	7.1

第2表 支出の状況

歳出の状況を性質別に区分すれば、次のとおりである。

決算状況

(単位：千円、%)

		令和5年度		令和4年度		対前年伸率
		支出済額	構成比	支出済額	構成比	
消費的経費	人件費	445,794	11.0	467,279	12.4	▲ 4.6
	物件費	701,085	17.4	614,154	16.3	14.2
	維持補修費	121,418	3	101,273	2.7	19.9
	扶助費	161,644	4.0	143,379	3.8	12.7
	補助費等	806,853	19.9	707,440	18.7	14.1
	計	2,236,794	55.3	2,033,525	53.9	10.0
投資的経費	普通建設事業費	466,655	11.5	567,811	15.0	▲ 17.8
	災害復旧事業費	0	0.0	0	0.0	-
	計	466,655	11.5	567,811	15.0	▲ 17.8
その他	公債費	544,860	13.5	486,582	12.8	12.0
	積立金	445,041	11.0	266,394	7.1	67.1
	投資及び出資金・貸付金	61,651	1.5	37,080	1.0	66.3
	繰出金	292,470	7.2	384,777	10.2	▲ 24.0
	計	1,344,022	33.2	1,174,833	31.1	14.4
歳出計		4,047,471	100.0	3,776,169	100.0	7.2

第3表 基金の状況

(単位：円)

名 称	令和4年度末残高	令和5年度中増減		令和5年度末残高
		積立金	取り崩し	
財政調整基金	485,607,675	444,719	0	486,052,394
減債基金	464,525,903	236,618,862	22,359,821	678,784,944
公共施設整備基金	330,037,953	424,265	0	330,462,218
ふるさと応援基金	761,467,520	202,834,956	261,000,000	703,302,476
地域福祉基金	55,487,450	3,905	3,905	55,487,450
農業振興基金	22,558,163	1,002,649	0	23,560,812
ひまわりバンク育成基金	11,722,072	1,414	598,000	11,125,486
農地保有合理化促進事業基金	5,027,430	606	1,653,375	3,374,661
森林環境基金	9,611,450	3,578,206	1,549,151	11,640,505
商工ひまわり基金	12,686,053	892	0	12,686,945
青少年育成基金	3,561,294	128,071	0	3,689,365
生涯学習振興基金	11,745,828	826	0	11,746,654
計	2,174,038,791	445,039,371	287,164,252	2,331,913,910

※参 考

(単位：円)

名 称	令和4年度末残高	令和5年度中増減		令和5年度末残高
		積立金	取り崩し	
北海道市町村備荒資金組納付金	152,427,427	886,684	0	153,314,111
国民健康保険特別会計財政調整基金	55,352,421	2,549	7,000,000	48,354,970
介護保険特別会計介護給付費準備基金	3,461,353	17,333,397	0	20,794,750
特別養護老人ホーム特別会計財政調整基金	1,658,366	80,033	0	1,738,399
計	212,899,567	18,302,663	7,000,000	224,202,230

※特別会計繰出金額

(単位：円)

会 計	令和5年度決算額	令和4年度決算額	増 減
国民健康保険特別会計	20,277,901	19,719,311	558,590
町立診療所事業特別会計	26,763,488	26,831,685	▲ 68,197
後期高齢者医療特別会計	13,198,923	12,422,069	776,854
介護保険特別会計	47,285,272	42,756,204	4,529,068
特別養護老人ホーム事業特別会計	135,247,922	159,569,481	▲ 24,321,559
農業集落排水事業及び個別排水処理事業特別会計	0	74,019,000	▲ 74,019,000
計	242,773,506	335,317,750	92,544,244

第4表 一部事務組合負担金調

(単位：千円)

組 合 名	令和5年度 負担金額	令和4年度 負担金額	増 減	算 定 基 礎
北空知衛生施設組合	9,086	4,861	4,225	運営費 平均割 10%、ごみ量割 90% 建設費 ごみ量割 100%
北空知衛生センター 組合	34,039	24,376	9,663	し尿 経常経費 過去1年間の収集実績割 建設経費 北竜町 9.50% 可燃ごみ 経常経費 過去1年間の収集実績割 建設経費 均等割 10%、ごみ量割 90%
北空知葬斎組合	0	0	0	人口割 (直近の国調人口) 100%
深川地区消防組合	124,367	131,520	▲ 7,153	人口割 50%、世帯割 40%、面積割 5%、財政割 5%
空知教育センター組合	325	312	13	運営費 滝川市1/2、その他市町1/2 (平均 30%、人口 35%、 教職員 35%) 研修費 平均 20%、人口 20%、教職員 30%、距離 30%
北空知圏学校給食組合	10,628	10,778	▲ 150	運営費 実給食人数割 100% 建設費 均等割 10%、計画給食人数割 90%
中・北空知廃棄物処理広 域連合	8,878	10,296	▲ 1,418	運営費 前々年度まで過去3か年の平均ごみ量割 建設費 均等割 10%、固定ごみ量割 90%
計	187,323	182,143	▲ 5,180	

令和4年度 各市町別一部事務組合負担額調

(単位：千円)

組 合 名	深川市	妹背牛町	秩父別町	沼田町	雨竜町	北竜町	計
北空知衛生施設組合		18,709	12,554	13,724		9,086	54,073
北空知衛生センター組合	282,822	41,101	41,559	45,589		34,039	445,110
深川地区消防組合						124,367	124,367
空知教育センター組合						325	325
北空知圏学校給食組合						10,628	10,628
中・北空知廃棄物処理広 域連合	120,177	13,849	12,477	14,514	12,926	8,878	182,821
計	402,999	73,659	66,590	73,827	12,926	187,323	817,324

※ 空知教育センター組合、中・北空知廃棄物処理広域連合については、関係市町のみ記載のため計は≠とならない。

(2) 国民健康保険特別会計

○歳 入

- イ. 予算現額 284,850,000 円に対し、収入済額は 259,178,378 円で収入歩合は 90.99%、対予算では 25,671,622 円の減である。また、調定額 262,744,387 円に対しては収入歩合 98.64%で 3,566,009 円が収入未済となっている。
- ロ. 国民健康保険料の予算に対する収入歩合は、101.07%と前年度比 0.44%減となっている。
- ハ. 一般会計からの繰入金は 20,277,901 円で歳入総額に占める割合は 7.82%であり、対前年度比 558,590 円の増となっている。

○歳 出

- イ. 予算現額 284,850,000 円に対し、支出済額は 257,554,342 円で執行率は 90.42%、27,295,658 円が不用額となっている。
- ロ. 支出済額のうち、保険給付費は 144,725,020 円（構成比 56.19%）、国民健康保険事業納付金は 101,568,000 円（同 39.44%）、が主なもので歳出総額の 95.63%を占めている。

○総 括

- イ. 歳入歳出決算において、1,624,036 円の実質収支で決算され、全額翌年度に繰越された。
- ロ. 令和 5 年度末の財政調整基金残高は 48,354,970 円で 7,000,000 円を取崩した事により、前年度に比べ 6,987,451 円の減となっている。
- ハ. 国民健康保険料の徴収率は現年度分で 99.11%である。令和 5 年度の収入未済額は 3,444,809 円で、前年度と比較すると 29,160 円減少しているが、引き続き滞納者の状況把握に一層努められたい。

(3) 町立診療所事業特別会計

○歳入

- イ. 予算現額 112,692,000 円に対し、収入済額は 102,111,492 円で収入歩合は 90.61%、対予算では 10,580,508 円の減である。
- ロ. 診療収入は、町立診療所が 52,597,321 円で前年度比 11,566,038 円減となっている。また、町立歯科診療所では 8,233,640 円で前年度比 2,249,524 円の減となっている。
- ハ. 一般会計からの繰入金は 26,763,488 円で、歳入総額に占める割合は 26.21%であり、対前年度比 68,197 円の減となっている。

○歳出

- イ. 予算現額 112,692,000 円に対し、支出済額は 101,315,993 円で執行率は 89.91%、11,376,007 円が不用額となっている。

○総括

- イ. 歳入歳出決算においては 795,499 円の実質収支で決算され、全額翌年度に繰越された。
- ロ. 診療収入は、町立診療所で対前年度比 18.03%減、町立歯科診療所では対前年度比 21.46%減であった。一般会計からの繰入金は対前年度比 68,197 円減となったが、依然として高い値となっている。
町立診療所及び町立歯科診療所の経営については、なお一層努力をされたい。

(4) 後期高齢者医療特別会計

○歳 入

イ. 予算現額 39,976,000 円に対し、収入済額は 37,948,660 円で収入歩合は 94.93%、対予算では 2,027,340 円の減となっている。

ロ. 一般会計からの繰入金は 13,198,923 円で、歳入総額に占める割合は 34.78%であり、対前年度比 776,854 円の増となっている。

○歳 出

イ. 予算現額 39,976,000 円に対し、支出済額は 37,919,160 円で執行率は 94.85%、2,056,840 円が不用額となっている。

○総 括

イ. 歳入歳出決算においては、29,500 円の実質収支で決算され、全額翌年度に繰越された。

(5) 介護保険特別会計

○歳 入

- イ. 予算現額 302,093,000 円に対し、収入済額は 305,156,570 円で収入歩合は 101.01%、対予算では 3,063,570 円の増である。
- ロ. 介護保険料の徴収率は、現年度分が 99.98%で 52,475,800 円、収入未済は 11,700 円となっており、滞納分の徴収について最善の努力を期されたい。
- ハ. 一般会計からの繰入金は 47,285,272 円で、歳入総額に占める割合は 15.50%であり、対前年度比 4,509,568 円の増となっている。

○歳 出

- イ. 予算現額 302,093,000 円に対し、支出済額は 288,813,746 円で執行率は 95.60%、13,279,254 円が不用額となっている。
- ロ. 支出総額のうち、保険給付費が 227,329,181 円（構成比 78.71%）で前年度比 6,152,844 円減、地域支援事業費 23,355,251 円（同 8.09%）が主なもので全体の 86.80%を占めている。

○総 括

- イ. 歳入歳出決算において 16,342,824 円の実質収支で決算され、全額翌年度に繰越された。
- ロ. 高齢化に伴い、今後介護給付費の増加が懸念される。介護給付費準備基金等財源の確保に努められたい。

(6) 特別養護老人ホーム事業特別会計

○歳入

- イ. 予算現額 478,397,000 円に対し、収入済額は 468,510,236 円で収入歩合は 97.93%、対予算では 9,886,764 円の減となっている。
- ロ. 介護収入は、324,170,359 円で前年度比 41,091,934 円の増となっている。
- ハ. 一般会計からの繰入金は 135,247,922 円で歳入総額に占める割合は 28.87%であり、前年比 24,321,559 円の減であった。

○歳出

- イ. 予算現額 478,397,000 円に対し、支出済額は 460,403,292 円で執行率は 96.24%、4,133,708 円が不用額となっている。

○総括

- イ. 歳入歳出差引額 8,106,944 円のうち繰越明許費繰越額 7,560,000 円を除く 546,944 円の実質収支で決算され全額翌年度に繰越された。
- ロ. 令和 5 年度の財政調整基金残高は 1,738,399 円、対前年度比 80,033 円の増となっている。
- ハ. 入所者の増加により介護報酬収入が大きく増収となっている。今後とも定員の確保と経営改善に一層の努力を期されたい。

3. 基金運用状況審査結果

(1) 北竜町奨学資金貸付基金審査意見書

令和5年度北竜町奨学資金貸付基金の運用状況について審査し、次のとおり意見を付す。

令和6年8月26日

監査委員 井 上 孝

監査委員 佐 藤 稔

1. 審査意見

審査の結果、運用に関する調書の計数は正確であり、その運用は設置の目的に従って原資金の範囲内において運用されている。

令和5年度 北竜町奨学資金貸付調書

(単位：円)

区 分	令和4年度末 現 在 高	令和5年度中の増減			令和5年度末 現 在 高
		増	減	免 除	
貸 付	32,366,000	7,040,000	6,136,000		33,270,000
運 用	14,072,265	7,996,640	7,040,000		15,028,905
合 計	46,438,265	15,036,640	13,176,000		48,298,905

※令和5年度中増減の内訳

(単位：円)

	増		減	
貸 付	新規 3人	850,000	貸付金返還	6,036,000
	継続 11人	4,340,000	23件	
	新規 3人 (特別奨学資金)	650,000		
	継続 4人 (特別奨学資金)	1,200,000	1件	100,000
	計	7,040,000	計	6,136,000
運 用	貸付金返還	6,136,000	新規貸付	850,000
	原 資	1,850,000		
	預金利息	640	継続貸付	4,340,000
	寄 附 金	10,000	新規貸付 (特別奨学資金)	650,000
	基金積立金	0	継続貸付 (特別奨学資金)	1,200,000
	計	7,996,640	計	7,040,000
合 計		15,036,640		13,176,000